

イタリア NDS研修

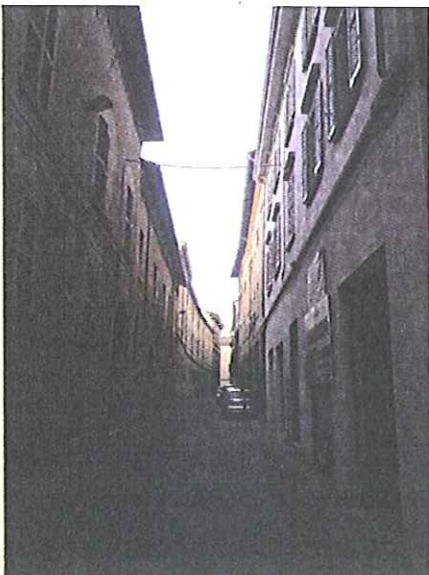
6月19日から1週間、飼料設計ソフトの研修のためイタリアに行ってきました。現在私は飼料設計の際には CPM Dairyという世界的に普及しているソフトを使用しています。しかしこのソフトはなぜか数年前から飼料成分データや新しいルーメンサブモデルの更新がおこなわれなくなっており、今後われわれが研究と進歩発展のめぐるしい乳牛栄養学についていくために「新しい飼料設計ソフト」を習熟する必要があったからです。大まかな変更点は、今までのルーメンサブモデルでは代謝エネルギー量を過大評価し、逆に代謝タンパク量を過小評価する傾向があったようです。これらを大幅に修正したルーメンサブモデルを搭載したCPMの後継ソフト「NDS (Nutritional Dynamic System)」はイタリアの酪農コンサルタント会社「RU・M&N社(ルーメン社)」が開発したソフトです。今回はその開発者である Dr.Melli 直々に研修をおこなっても

講義をするDr. Melli
その熱心な姿勢に佐竹は一睡もしなかった！
(時差ボケにもかかわらず)



らえる機会に恵まれました。研修ではこのソフトの使い方だけではなく、Dr. Melli自身も現場でコンサルタントをおこなっていることから話も非常に実地的なものが多く、とても有意義な研修となりました。今後はこのNDSを使って皆様によりよいサービスができるようになると思います。

イタリアという国 イタリアの酪農???とあまりピンとこないのですが、ローマ時代からチーズを食べ続けている国ですから牧畜は盛んな国です(乳牛飼養頭数 日本83万頭 イタリア220万頭)。平均305日乳量はホルスタインに関しては9000kg前半と日本と同じくらいですが、生乳の多くがチーズ向けのこの国ではホルスタインは全乳牛の半分ほどしかおらず、他はジャージーや水牛(モツアレチーズ用)などで、これらを含めると個体乳量は6000kg程のようです。乳価は35円/kgほどで初妊牛は20万円弱、ガソリンはなんと約170円/ℓ。酪農経営はEU全体が厳しい状態です。縦長の国土の中部周辺がもっとも農業が盛んで、気候も地中海性気候で温暖、土地も非常に肥沃です。2月にイタリアンライグラスを播種し、4月に1番草を採草した後、デントコーンを播種し収穫。実取



り用コーンや大麦も自家栽培しており、購入飼料は比較的少なく、タンパク源とビタミンミネラルくらいだそうです。

食べ物が非常においしく、まさに「子供のころに食べたかったものだらけ」でした。また明るい人柄の人が多く、何ととっても女性がとてもキレイです。イタリアではきれいな女性を見たら声をかけない方が無礼だと聞きました。

また街中に歴史的な建造物のごく普通にワンサカあり、私の滞在した街も中世に建造された城塞都市でした。(写真:時差ボケで朝2時に目が覚め、仕方ないから早朝の街中を散策した時のもの)

